

くくふ すふふ

平成25年 1月1日- 第1号

発行: 社会福祉法人 心の会
広報委員会
発行責任者: 真境名政子

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

皆様におかれましては、お健やかに初春をお迎えのことと存じます。

旧年中は、施設運営にあたり、格別のご厚情とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

「利用者も人権と尊厳」と「自己決定権」を施設運営の軸に、昨年5月に開所した地域密着型特別養護老人ホーム『球美の杜』・小規模多機能施設『球美の家』両施設は、久米島町高齢者福祉計画に基づき、町民の少子高齢化社会における介護福祉の一助を担うべく開所いたしました。

久米島町の8ヶ月間の施設運営の中でも行政・久米島町社協・地域自治会・小中高生や保育園児童・各ボランティアの方々の協力のもと、専門職による「地域ふれあい転倒予防教室」の開催や各ボランティア団体との交流会の開催・地域行事への参加等の『地域連携型福祉サービス』を積極的に展開してきました。

超高齢社会を迎えて往く中、私ども社会福祉法人 心の会として、地域の要望に応え、地域の福祉事業の拠点となるべく、町福祉行政・地域包括センター・町社協・他事業所とも協力しながら、役職員一同さらなるサービス向上にむけ研鑽に努めていく所存であります。

本年度もどうぞ宜しくお願い致します。

平成25年1月1日
社会福祉法人 心の会
理事長 川平 恵次郎



謹賀新年

施設屋上からのオーシャン

Contents

- 1 - 表紙(新年のあいさつ・理事長)
- 2 - 施設長あいさつ／開所時写真
- 3 - 各事業所あいさつ・紹介
- 4 - イベント写真館

社会福祉法人 心の会



- 特別養護老人ホーム 球美の杜
- 小規模多機能型介護施設 球美の家
- 居宅介護支援事業所 球美の杜

〒901-3121 久米島町字嘉手苅533-1

ロゴマーク作意：ゆいまーるの精神を象徴する「心」の4画字を、（緑）久米島の自然や大地、（赤）人、人々（黄）太陽と花、（青）澄み切った空と海をイメージしています。

～ 新年のあいさつ ～ 開かれた施設をめざして！

社会福祉法人 心の会
施設長 真境名 政子



あけましておめでとうございます。

昨年5月開所から、地域の皆様のご協力で球美の杜、入所30名、球美の家25名、職員40名共々新しい年を迎える事ができました。利用者にとって安心安全の『もう一つの住まい』としてサービスできるように開設前職員研修はじめ、安全管理、感染対策委員会を立ち上げ看護介護の連携でサービス向上に努めてきました。健康面でも嘱託医をはじめ地域の診療所の協力で細かな対応ができました。また地域と共に運営推進懇談会、家族会、第3者委員を含めた苦情対応委員会や地域ボランティア、保育園・学校との交流などこれからますます強化していきたいと考えております。

これからも環境のよい開かれた施設づくりに職員一同努めていきたいと思います。

特別養護老人ホーム 球美の杜
小規模多機能型居宅介護事業所 球美の家

平成24年5月1日開所いたしました。



落成記念講演会
山城 紀子氏



落成式
テープカット



皆で記念撮影 (^v^)



慰労会
最後は、一本締め



祝賀会
民謡レク愛好会による踊り

特別養護老人ホーム 球美の杜



特別養護老人ホーム
球美の杜
所長 平良 紳

あけましておめでとうございます。

旧年中は、格別のご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

2012年5月に地域密着型施設『球美の杜』としてスタートし初めて経験することが多く、皆様にご迷惑をかけた面も多々あったと思いますが、何とか無事に新年を迎えることができました。これもひとえに利用者のご家族、地域の方々のおかげと深く感謝申し上げます。

介護の仕事が未経験の職員も多かったのですが、個々の努力、チームワークで開所から誰一人欠けることなく頑張っています。今後も職員一同サービスの質向上の為、入所者、利用者の方々が安心して快適に過ごすことのできる充実した看護・介護サービス提供に努めていきます。また、入所者・利用者ご家族、地域の方々とともに親睦を深め地域に根差した施設を目指します。

本年もどうぞ宜しくお願いいたします。

小規模多機能型施設
球美の家
所長 白石 嘉彦



小規模多機能型居宅介護事業所 球美の家

あけましておめでとうございます。昨年中は、社会福祉法人心の会の事業運営に多大なるご協力を頂き心より感謝申し上げます。

昨年も全国各地で様々なでき事があり、特に自然災害については強く考えさせられる一年でした。

社会福祉法人心の会『小規模多機能型居宅介護事業所 球美の家』も平成24年5月に開所し無事に新年を迎えることができたのも多くの方々のお力添えがあってと改めて感謝申し上げます。小規模多機能 球美の家では、『通い』『泊まり』『訪問』といったサービスを提供し地域で生活される高齢者・障害者の方々に柔軟に対応できるよう心がけ、また、ご家族の介護負担軽減を目標に今後も努力してまいりたいと考えております。

今後とも一人一人のニーズに対応し、また、地域住民の方々との交流を通して地域社会に貢献できる施設づくりに努めてまいります。

居宅介護支援事業所 球美の杜



居宅介護支援事業所
球美の杜
介護支援専門員
射延 智子

新年おめでとうございます。

居宅介護支援事業所『球美の杜』のケアマネージャーをしています。射延智子（いのべともこ）と申します。平成24年6月にここ久米島町字嘉手苅に産声を上げた当事業所もたくさんの笑顔に支えられ、久米島の皆様と一緒に新年を迎えることができました。

居宅介護支援事業所では、お年寄りが在宅生活を続けるうえで必要な介護サービスの調整を行っています。私自身、兵庫県から、久米島へ昨年引っ越してきたばかりで、右も左もわからない状態ではありますが、お年寄りの方々が、年齢を重ねても生まれ育った島で住み慣れた我が家で、安心して生活できるようサポートさせていただく・・・この想いをモットーに今年も精一杯頑張りますので、ご支援ご指導をよろしくお願い申し上げます。

～ KUKURUイベント写真館 ～



●11月1日・2日
久米島高校生が
実習にきました。



●12月20日
支援センターさくらと交流会



●12月25日
キリスト教会による合唱



◆9月17日
福島の子供たち保養センター
球美の里



球美軽音楽倶楽部
演奏会♪



むみんく花
演奏会♪



★11月20日
久米島町へ天皇皇后陛下が初来島



★7月7日
なでしこ会（七夕慰問）



★11月15日
久米島小学校より、タオル寄贈

◆◆編集後記◆◆

カラス
▼鳥が言った「これまで誠に参考になる議論であった。このようにしたら家も富み、人も繁栄して昔のようになり、栄えるかもしれない。私たちが三鳥、身分不相応な議論をしてきたが、善いのは取り、悪いのは捨てればいいんだ。夜も明けてきた。また次の機会に議論しよう。」▼約二百年前、チーミ獄（カラス山）を舞台に、当時の衰退し困窮した久米島を嘆き、その振興策を鳥、鷺、隼の三鳥を擬人化し論じた古文書をユーモアラスに著作した 試訳 / 久米島三鳥論 仲原裕著）の結章一節である。▼この論調を借りれば私たちの施設もこのチナハの杜より、職員間、職員と利用者、施設と地域へと、心通い合う施設運営を目指し、発信していきたい。▼目配り（安全）・気配り（安心、尊厳）の心、そして、な〜てい〜ちい。▼施設広報誌として、やっと発刊することが出来ました。ご協力下さった皆様に感謝いたします。次号もより、な〜てい〜ちいを求めて編集委員一同、くるくる見ていがんばります。ご意見・ご要望・情報をお寄せ下さい。謹賀新年：（中）

編集委員：佐々木麻美、
与座規子、喜久村千賀、
岡本祐季、長濱光邦、
中本辰己